

モアブの若い女性ルツ

モアブの地で長年暮らし、夫と二人の息子にも先立たれたナオミは、母国イスラエルの故郷へ帰ることになりました。母国へ帰る旅には、ナオミの息子の妻だった若い女性が同行しました。

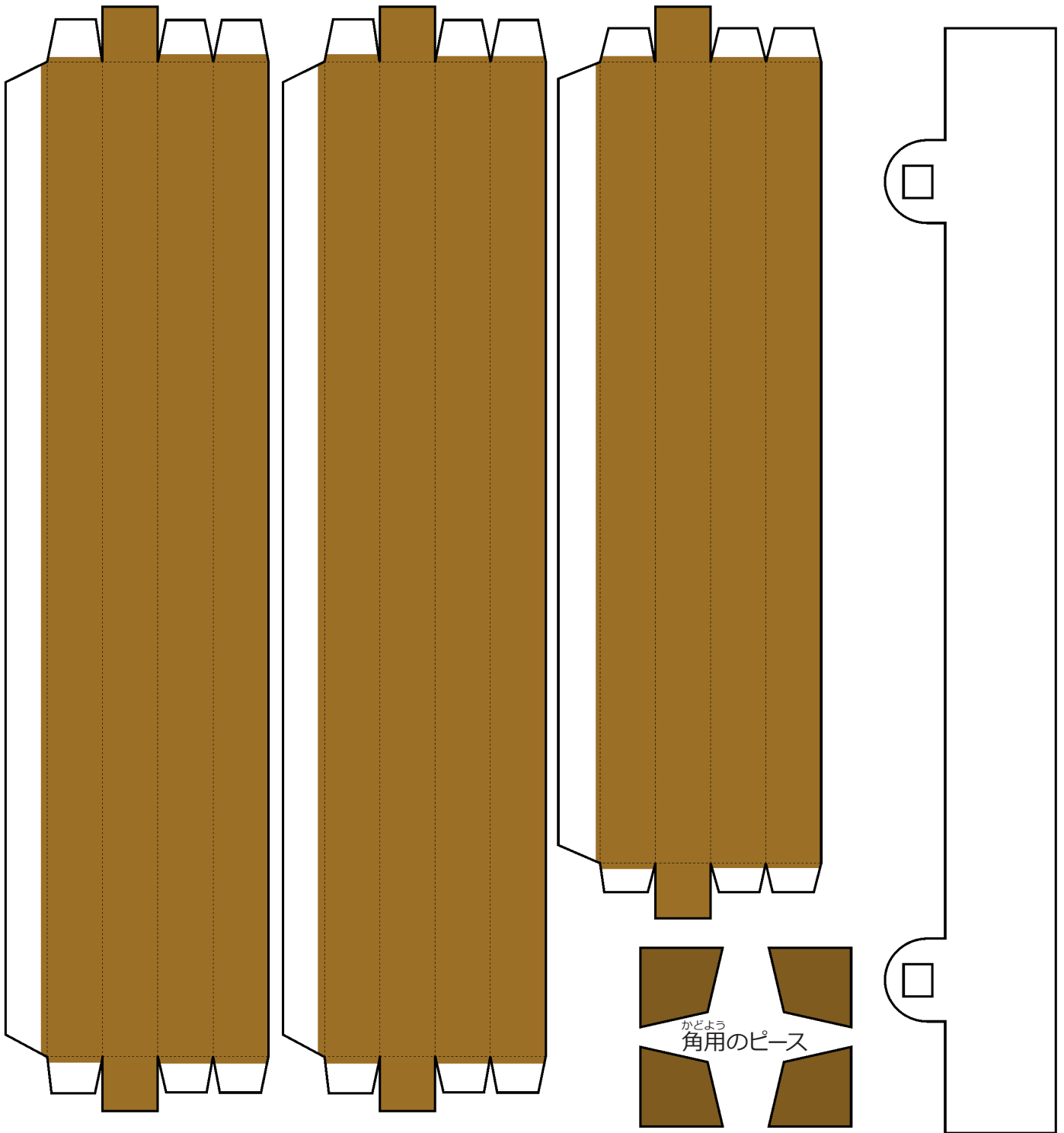
ナオミは、二人の義理の娘たちには自分の国であるモアブにとどまるようにと言いましたが、ルツは、ナオミといっしょにイスラエルに行くことを選びました。ルツはナオミにこう言ったのです。「あなたを離れて帰ることをわたしに勧めないでください。わたしはあなたの行かれる所へ行きます。あなたの民はわたしの民、あなたの神はわたしの神です。」

長い旅路の末に、ナオミとルツは、刈り入れの季節にベツレヘムに着きました。二人は貧しかったので、ルツは、刈り入れの終わった畑へ行って、残った落ち穂を拾いました。そこである日、ルツはボアズに会いました。ボアズは畑の持ち主で、ナオミの亡くなった夫の親せきでした。

ボアズとルツはたがいに愛し合うようになり、まもなく結婚することになります。二人には、オベデという息子ができます。オベデは、王ダビデの祖父となります。この家族の家系は長く続き、神様の息子であるイエス様という特別な子孫を持つようになるのです。

この美しい物語は、ルツ記第1～4章に書かれています。読んでみましょう。



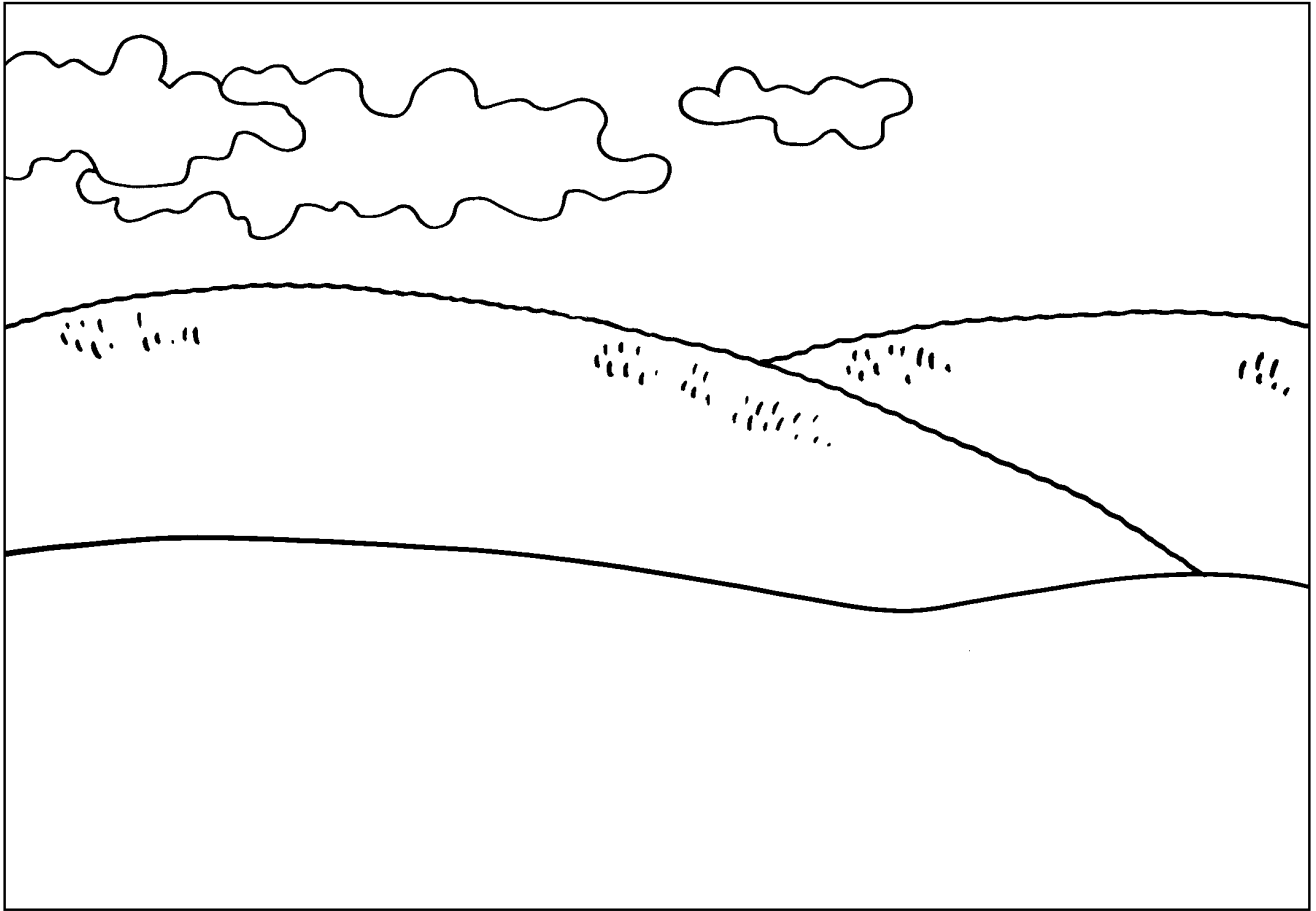


かどよう
角用のピース



よ
フレーム用のピース

ひち つ あと
紐を付けた後に
は っ
貼り付けるピース
(シャドーボックスの
つく かた
作り方は[こちら](#))



モアブの若い女性 ルツ

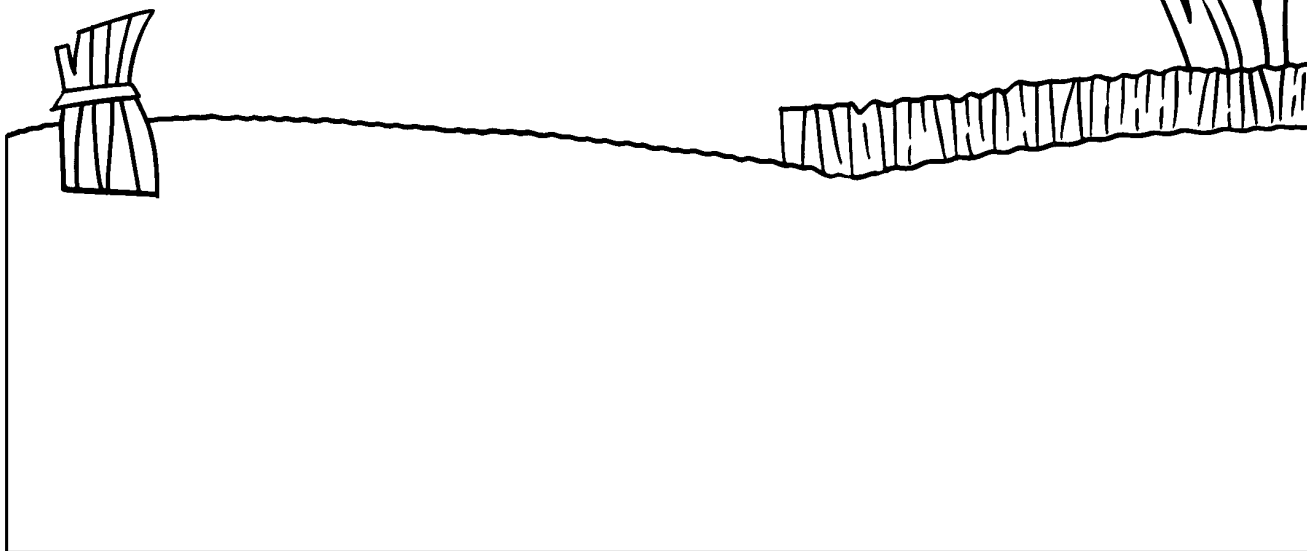
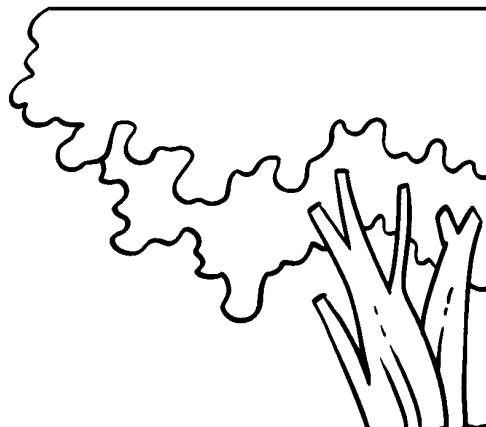
モアブの地で長年暮らし、夫と二人の息子にも先立たれたナオミは、母国イスラエルの故郷へ帰ることになりました。母国へ帰る旅には、ナオミの息子の妻だった若い女性が同行しました。

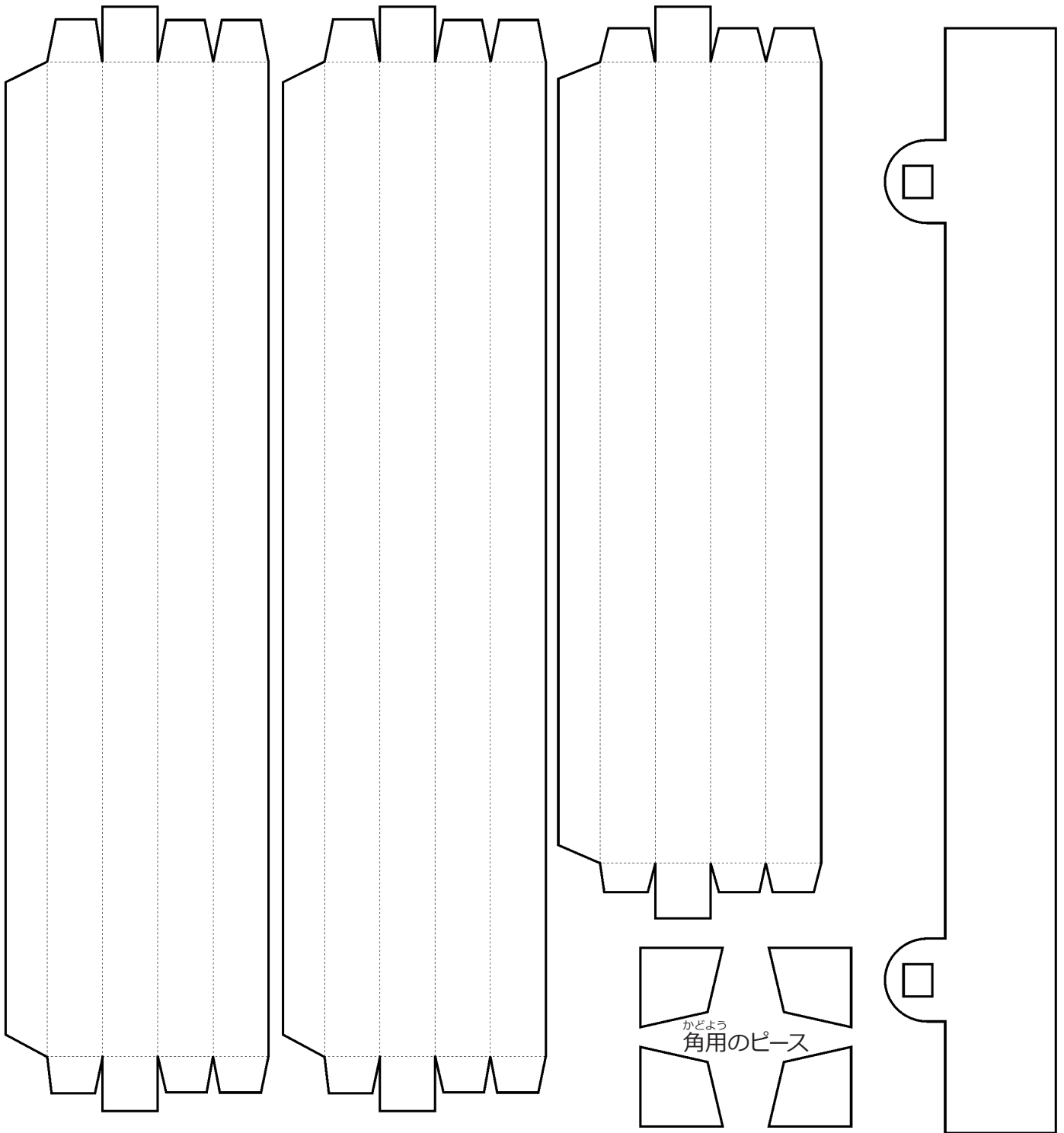
ナオミは、二人の義理の娘たちには自分の国であるモアブにとどまるようにと言いましたが、ルツは、ナオミといっしょにイスラエルに行くことを選びました。ルツはナオミにこう言ったのです。「あなたを離れて帰ることをわたしに勧めないでください。わたしはあなたの行かれる所へ行きます。あなたの民はわたしの民、あなたの神はわたしの神です。」

長い旅路の末に、ナオミとルツは、刈り入れの季節にベツレヘムに着きました。二人は貧しかったので、ルツは、刈り入れの終わった畑へ行って、残った落ち穂を拾いました。そこである日、ルツはボアズに会いました。ボアズは畑の持ち主で、ナオミの亡くなった夫の親せきでした。

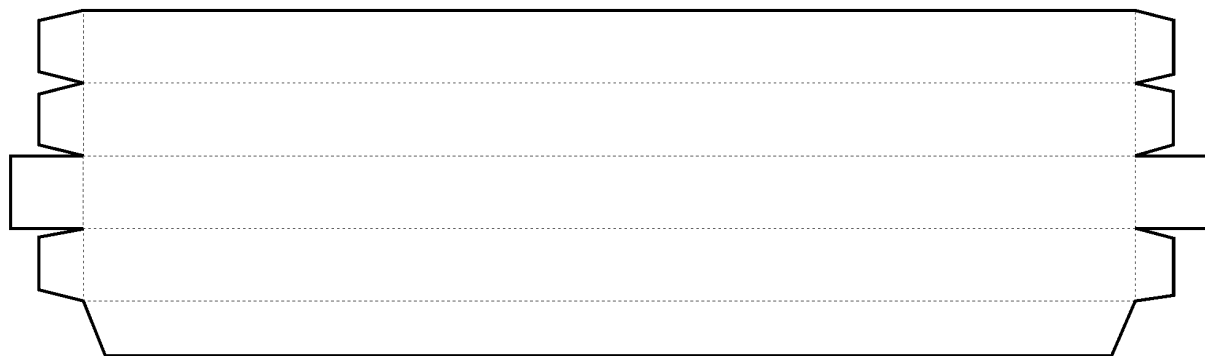
ボアズとルツはたがいに愛し合うようになり、まもなく結婚することになります。二人には、オベデという息子ができます。オベデは、王ダビデの祖父となります。この家族の家系は長く続き、神様の息子であるイエス様という特別な子孫を持つようになるのです。

この美しい物語は、ルツ記第1～4章に書かれています。読んでみましょう。





かどよう
角用のピース



フレーム用のピース

ひち つ あと
紐を付けた後に
は っ
貼り付けるピース
(シャドーボックスの
つく かた
作り方は[こちら](#))